

# JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第30巻第3号

発行日●2022年9月15日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

## 第65回 消費者行動研究コンファレンス(オンライン)の概要

### <統一論題>

## 環境変化と消費者行動研究の未来

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催概要が決定しましたので、ご案内いたします。  
第65回は、オンライン参加と現地参加が選べるハイブリッド形式による開催となります。  
コミュニケーション・メディア「Zoom」を基本ツールに、論文プロポーザル賞のプレゼンテーションは「VIMEO」、選挙は「e投票」で行う予定です。

### －開催概要－

開催日程： 2022年10月29日(土)・30日(日)  
開催校： 西南学院大学(福岡市)  
研究会参加費： 4,000円[学生会員は2,000円] ※クレジットカード支払い  
◆事前申し込み制(現地参加の場合も、必ず事前申し込みが必要です)  
参加申込方法： JACS Website ( <http://www.jacs.gr.jp/> ) にて9月15日より受付開始  
参加申込締切： 10月21日(金)までに必ずお申込み手続きを行ってください

#### 〔第1日目〕

10:20 - 10:30 開会の辞  
10:30 - 12:00 JACS-樫尾俊雄  
論文プロポーザル賞  
12:00 - 13:30 昼食休憩(役員会)  
13:30 - 15:40 統一論題 基調講演  
15:40 - 16:00 休憩  
16:00 - 17:00 ラウンドテーブル  
17:00 - 17:15 休憩  
17:15 - 18:00 会員総会  
18:00 - 18:30 選挙  
18:30 - 18:40 選挙結果報告

#### 〔第2日目〕

10:30 - 12:00 自由論題研究報告①  
12:00 - 13:15 昼食休憩  
13:15 - 15:00 自由論題研究報告②  
15:00 - 15:15 閉会の辞

ハイブリッド形式による開催につき  
学会主催による「懇親会」は開催  
いたしません。予めご了承ください。

—統一論題—

「環境変化と消費者行動研究の未来」

井上 淳子（成蹊大学）

我々を取り巻く環境は刻々と変化をしています。いつの時代の人々も新しい技術や制度、生活様式などの登場を経験し、その中で豊かさと幸せを追求してきました。

変異を繰り返しながら、なお我々を苦しめている新型コロナウイルスの世界的流行は、ポジティブな変化、進化ばかりに気を取られていた個々人に強烈な警告を与えたようにも思えます。

大きく、そして速いスピードで変化する環境の中で、消費者行動および消費者行動研究はどう変わり、これからどうなっていくことが求められるのでしょうか。第65回コンファレンスでは「環境変化と消費者行動研究の未来」を統一論題に掲げ、皆様とともに展望したいと考えています。前回のJACS創設30周年記念大会は「消費者行動研究の30年」を振り返る大変貴重な機会でした。春大会での「回顧」を踏まえて、秋大会で「展望」することはJACSの記念すべき一年にふさわしいと考えました。

今回の統一論題については、次の3つの視点からアプローチすることを構想し、3名の先生にご講演いただく予定です。

1つ目の視点は、「変わる消費者の行動とマインド」です。パンデミックの経験は消費者のマインドと行動を大きく変えました。その影響は長期にわたり、また広い範囲で観察され続けるでしょう。環境問題の深刻化は、企業にも消費者にも待たなしの対応を迫ってきています。消費者が今どのような変化の最中にあり、どこに向かっていくのか、青山学院大学の石井裕明先生にご講演いただきます。

2つ目の視点は、「変わる研究手法・アプローチ」です。テクノロジーの絶え間ない進化は、消費者行動はもとより、消費者行動研究の手法にも大きな影響を及ぼしています。ビッグデータのおかげで二次データの分析使用が進んだり、実験がオンラインで実施できるようになったり、テキストや

視覚イメージなどの非構造的データも分析できるようになりました。新たに登場してきた技術や研究手法、またそれらが可能にする発見等について早稲田大学の守口剛先生にご講演いただきます。

3つ目の視点は、「目指すべき消費者行動研究の目標や社会的使命」です。消費者行動研究にはこれまでも、そしてこれからもマネジリアルな有用性が求められます。アカデミアの中だけの閉じた研究ではなく、企業、政策決定者、生活者にとっても実質的な妥当性をもつ研究成果を世に出していくことが消費者行動研究者の使命と言えるでしょう。実務的妥当性をいかにして確認するか、研究と実務をどう結び付けるか、中央大学の田中洋先生にご講演いただきます。

すべてのご講演の後には、ラウンドテーブルという形でご登壇の先生方とフロアの皆様を交えたディスカッションの時間を設ける予定です。活発な議論の場となることを期待しています。

JACSの研究コンファレンスは2019年秋の大会（会場：神戸学院大学）を最後にオンラインでの開催が続いています。今回こそ、と完全対面への期待も高まりましたが、現在の感染状況を考慮して初のハイブリッド形式での開催が決定しました。西南学院大学の三井雄一先生のご協力により、福岡空港や博多駅からアクセスの良い同大学に集うことが許されました。対面形式のコンファレンスを心待ちにされていた方も多くいらっしゃるでしょう。久しぶりの再会を楽しんでいただきたいです。ハイブリッド形式ですので、様々な制約を越えてご参加いただくことが可能です。この柔軟性もご活用の上、ぜひ多くの方々にご参加いただきたく存じます。

福岡の地で、あるいは画面を通じて皆様とお目にかかれるのを心より楽しみにしております。

## 2022 年度国際学会派遣案内

日本消費者行動研究学会では、学会のグローバル化推進の一環として、学会員の海外学会発表（ポスター・セッションを含む）に対する助成を行っています。

海外発表の好機となりますので、会員の皆様におかれましては是非とも奮ってご応募ください。申請時につきましては、報告予定でも構いません。

なお、発表が不採択となった場合、助成金は、返還していただくこととなりますので予めご了承ください。

\*2022 年度もコロナの状況に鑑み、海外学会のオンライン参加も認めることとします。この場合、助成は英文校閲費のみの支給となります。

### 【助成内容】

1. 渡航費 : 上限 20 万円
2. 英文校閲費 : 上限 5 万円

【応募要件】今年度募集分より以下の要件を設けます。

1. 運用について：
  - ・採用は、お1人の先生につき最大2回まで
- 2 義務について：
  - ①助成年度から3年間は、JACSの会員として活動を継続すること
  - ②助成年度から3年以内に、日本消費者行動研究学会のコンファレンスにおいて1回以上研究発表を行うこと

### 【応募要領】

海外発表助成への応募を明記し、E-mailにてご応募ください。

- E-mail 記載事項：
  - ①申請者および発表者全員の氏名（少なくとも1名が会員であれば応募可能です）
  - ②申請者および発表者全員の所属先
  - ③発表学会名
  - ④発表時期（来年度の発表も応募可能です）
  - ⑤発表論題
- E-mail 宛先：jacs@asas-mail.jp（日本消費者行動研究学会 事務局）
- E-mail 件名：「JACS 国際学会派遣助成申請\_\_申請者氏名」と記してください。

【応募締切】2022年9月30日（金）

### 【採否通知】

国際学会派遣審査委員会にて助成対象者を決定の上、2022年10月下旬（10/30頃）に採否について、事務局より連絡いたします。

※採択後の義務・その他、詳細につきましては JACS Website をご覧ください。

[https://www.jacs.gr.jp/award/#resarch\\_grant](https://www.jacs.gr.jp/award/#resarch_grant)

### 学会費の「銀行振込み」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

### ご所属・ご住所の変更についてのお願い

**★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお、会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。JACS Website (<https://www.jacs.gr.jp/admit/#change>) からご自身でも直接変更可能ですので、是非ご利用ください。

### 新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は学会 Website (<https://www.jacs.gr.jp/admit/#join>) 入会案内から入会申請を行ってください。

#### ●入会資格

##### [学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部科学省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。

但し、学術会員 1 名の推薦が必要。

##### [賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

#### ●入会規定

<https://www.jacs.gr.jp/admit/#qualification>

#### ●年会費

※令和 3 年度（2021 年度）より

[学術会員] 12,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

★法人会員には会員特典がございます。

詳しくは学会 Website

「賛助会員：会員特典」をご覧ください。

## ●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局）神奈川県 経営学部 津村将章研究室  
〒220-8739 横浜市西区みなとみらい 4-5-3  
Email: [jacs.assist@gmail.com](mailto:jacs.assist@gmail.com)

（事務取扱）日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4F  
一般社団法人 学会支援機構内  
Tel: 03-5981-6025 / Fax: 03-5981-6012  
Email: [jacs@asas-mail.jp](mailto:jacs@asas-mail.jp)



<JACS Website>

<https://www.jacs.gr.jp>